



令和2年度予算(案)がまとまりました

令和2年度の一般会計当初予算規模は1,282億9,323万円で、対前年度比215億4,464万円の減、14.4%のマイナスとなりました。
 また、特別会計を含めた予算規模は1,859億4,012万円で前年度に比べ219億1,137万円の減、10.5%のマイナスとなっています。
 なお、この予算案は、現在開会中の議会で審議されています。

☎財政計画グループ ☎4566 - 2521

●編成方針

令和2年度予算は、まちづくり記念事業を含む「東アジア文化都市」のレガシーを活かし、未来の世代に向けて「としま新時代」の確かな道筋を創り上げる予算です。また、3年度から始まる後期・基本計画の策定に向けて、区の今後の方向性を定める重要な年度でもあります。こうしたなか、本区の二大財源の一つである特別区民税は課税人口の伸びや収納率の向上により増加しているものの、ふるさと納税制度によって個人住民税が流出しており、財政調整交付金についても、その原資となる法人住民税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直しなど、国が進める税源偏在是正の動きが区財政に深刻な影響を与えています。

このような状況のもと、2年度は23のまちづくり記念事業を着実に進め、「国際アート・カルチャー都市」を実現するとともに、「誰もが安心して暮らしつづけられるまち」の実現に向けた施策の充実に最優先に取り組みます。さらに、創意工夫を凝らし、より一層効率的な業務運営を徹底するとともに、投資的経費の計画的な見直しを進めた結果、予算規模は、一般会計当初予算で1,283億円と、前年度比で215億円のマイナスとなる予算規模となりました。

このように、災害に強い安全・安心なまちづくりを図りつつも、区民生活を支える様々な施策の充実など、豊島区の価値を高めるための投資を計画的に実施していくためには、安定的で持続的な財政基盤の構築が不可欠です。そうしたなか2年度予算においても、これまで進めてきた「子どもと女性にやさしいまちづくり」

「文化による賑わいを生むまちづくり」の成果が、課税人口の増加などによる歳入増という形になって現れ、7年連続で財政調整基金の取り崩しをせずに予算を編成することができました。

今後も、「未来戦略推進プラン2020」を実効あるものとするため、人件費の抑制、公民連携の推進など、構造改革に引き続き取り組み、安定的で持続可能な財政運営の確立を目指してまいります。

●閲覧できます

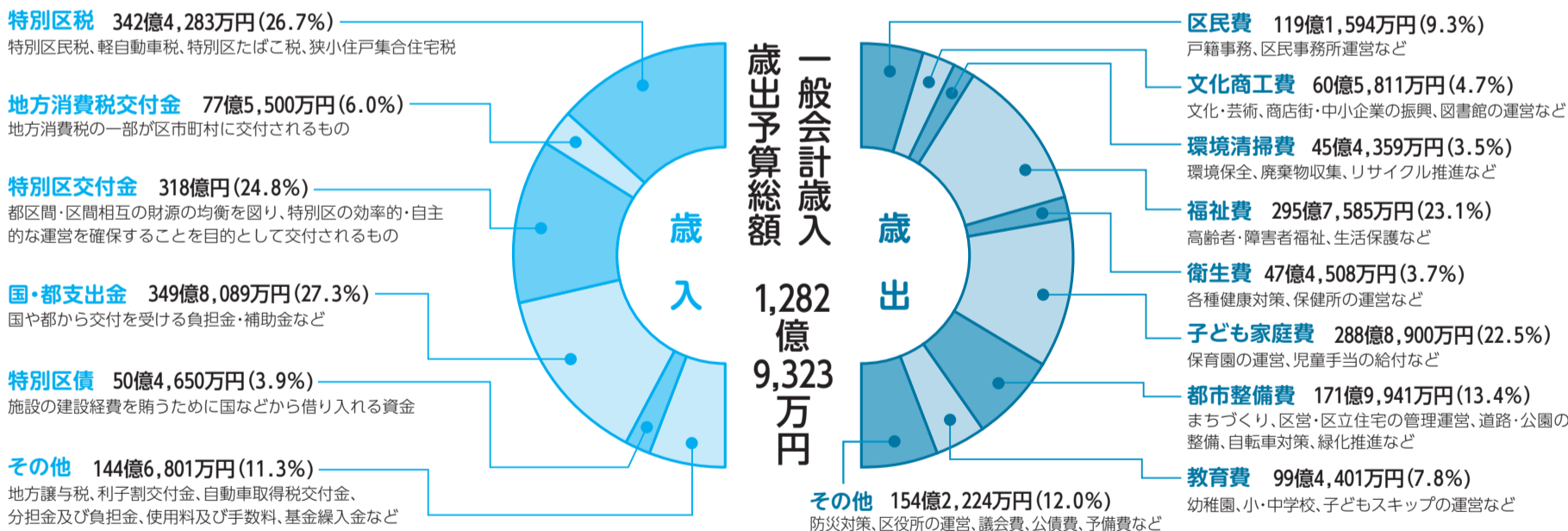
予算(案)の概要は、行政情報コーナー、区ホームページで閲覧できます。

令和2年度会計別予算

区分	令和2年度	令和元年度	増減
一般会計	1,282億9,323万円	1,498億3,786万円	14.4%減
特別会計	576億4,689万円	580億1,362万円	0.6%減
国民健康保険事業会計	289億7,386万円	304億5,085万円	4.9%減
後期高齢者医療事業会計	63億5,522万円	63億709万円	0.8%増
介護保険事業会計	223億1,780万円	212億5,568万円	5.0%増
合計	1,859億4,012万円	2,078億5,149万円	10.5%減

令和2年度予算(案)

※()内は、歳入・歳出予算それぞれの構成比。
 数値については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。



令和2年度予算を1万円に置き換えると、このような使い道になります

高齢者・障害者福祉、生活保護など 2,830円	保育園の運営、児童手当の給付など 2,157円	幼稚園、小・中学校、放課後対策(子どもスキップ)など 870円	広報、電算、その他区役所の運営など 797円	まちづくり、防災など 591円	道路、自転車対策など 461円
健康づくり、保健所の運営など 370円	環境対策、清掃、リサイクルなど 354円	文化、スポーツ、図書館など 330円	公園・児童遊園、緑化など 316円	借入金の返済 211円	戸籍事務、区民事務所の運営など 208円
商工業・観光の振興、勤労者福祉など 140円	区民ひろばの運営など 108円	各基金の積立て(貯蓄) 93円	税を集めるため 86円	区議会の運営 53円	選挙・監査 25円